

令和6年度(2024年度)

教育委員会の事務の点検および評価報告書

(令和5年度(2023年度)対象)

令和6年(2024年)9月

九十九里町教育委員会

1 点検・評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条に基づき、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することが義務づけられています。

九十九里町教育委員会では、その趣旨に則り、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、毎年度、施策および事務事業に関する点検・評価を実施し、報告書を作成しています。

※ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象

点検・評価は、令和 5 年度（2023 年度）に実施した教育委員会の施策、事務事業全般を対象とし、また、教育委員会会議の開催状況や教育委員の活動状況など、教育委員会の活動そのものについても実施しました。

なお、評価の対象とする項目については、「第 5 次九十九里町総合計画」に掲げる施策を基本とし、その施策に関する事務事業を選定しました。

3 点検・評価の方法

点検・評価の視点

教育委員会の活動状況については、教育委員会会議の開催や教育委員の活動などの実績を検証し、今後の取組の方向を示しています。

また、各事業の個別評価では、次の4段階で評価をします。

評 価		
A	目標を達成できた、または目標達成に向けて順調に進んでいる	
	(評価基準)	・ 目標を達成した ・ 効果的で適切な取り組みを行っている ・ 目標達成に向けて成果をあげている
B	概ね目標を達成できた、または目標達成に向けて進んでいる	
	(評価基準)	・ 概ね目標を達成した ・ 効果的な取り組みを行っている ・ 目標達成に向けて一定の成果をあげている
C	取り組みを行っている、または目標達成に向けて多少の成果をあげている	
	(評価基準)	・ 取り組みを行っている ・ 目標達成に向けて多少の成果をあげている
D	目標の達成ができなかった、または目標の達成は困難である	
	(評価基準)	・ 取り組みが行われていない ・ 目標達成に向けた成果はあがっていない

4 点検・評価結果の公表

本報告書は、町民への説明責任を果たすため、議会へ提出するとともに、教育委員会のホームページに掲載し公表します。

教育委員会の活動状況に関する点検・評価

1 教育委員の選任状況

教育長および教育委員は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育、文化などに関して識見を有する者を、町長が議会の同意を得て任命しています。

令和５年度の教育長および教育委員は次のとおりです。

役職名	氏名	就任年月日	任期（就任期間）
教育長	藤代 賢司	令和元年１０月１日	令和４年１０月１日～ 令和６年３月３１日
教育長職務代理者	川崎 修	平成２５年１０月１日	令和３年１０月１日～ 令和７年９月３０日
委 員	関 留理子	令和２年１０月１日	令和２年１０月１日～ 令和６年９月３０日
委 員	石田 米子	令和元年１２月２２日	令和元年１２月２２日～ 令和５年１２月２１日
委 員	阿部倉 毅	令和４年１０月１日	令和４年１０月１日～ 令和８年９月３０日
委 員	齋正 恵美子	令和６年３月５日	令和６年３月５日～ 令和１０年３月４日

2 教育委員活動状況

令和5年4月1日～令和6年3月31日

日付	会議名等	会議場所等
4	5 町転入教職員合同着任式	町立中央公民館
	5 第1回定例教育委員会議	町立中央公民館
	11 九十九里中学校入学式	九十九里中学校
	12 町内小学校入学式	各小学校
	19 千葉県町村教育長協議会総会	ホテルポートプラザ千葉
	21 山武地区教育委員会連絡協議会 表彰者選考委員会	大網白里市役所
	21 山武地区教育委員会連絡協議会 理事会	大網白里市役所
5	1 第2回定例教育委員会議	町立中央公民館
	15 山武地区教育委員会連絡協議会総会	大網白里市保健文化センター
	23 千葉縣市町村教育委員会連絡協議会 定期総会	スターツおおたかの森ホール
	26 関東甲信越静市町村教育委員会 連合会 総会・研修会	埼玉県加須市
	27 九十九里中学校体育祭	九十九里中学校
6	1 第3回定例教育委員会議	町立中央公民館
	1 第1回教科用図書山武採択地区 協議会	山武市役所
	3 豊海小学校運動会	豊海小学校
	13 町教育研究会合同研修会	九十九里中学校
7	3 第4回定例教育委員会議	町立中央公民館
	10 第2回教科用図書山武採択地区 協議会	町立中央公民館
	11 千葉県教育委員会連絡協議会第2回 幹事会	流山市
	27 山武合同教育講演会	東金文化会館
8	1 第5回定例教育委員会議	町立中央公民館
	4 千葉県教育委員会三団体正副会長 会議	流山市

8	22	山武教育研究会	各会場
	25	教育三団体「教育予算及び人事に関する要望書」提出	千葉県庁
9	1	第6回定例教育委員会議	町立中央公民館
	21	山武地区教育委員会連絡協議会 表彰者選考委員会	大網白里市役所
	21	山武地区教育委員会連絡協議会 理事会	大網白里市役所
	30	片貝小学校運動会	片貝小学校
	30	九十九里小学校運動会	九十九里小学校
10	2	第7回定例教育委員会議	町立中央公民館
	16	管内教育委員会教育長会議	東上総教育事務所
	18	教育委員会学校訪問 給食試食会	九十九里小学校 片貝小学校
	31	九十九里中学校合唱コンクール	東金文化会館
11	1	第8回定例教育委員会議	町立中央公民館
	1	山武地区教育委員会連絡協議会 表彰式	町立中央公民館
	1	山武地区教育委員会連絡協議会 合同研修会	大網白里市健康文化センター
	2	第34回若い芽のジョイントコンサート	九十九里中学校
	6	山武地区教育長連絡協議会	山武教育会館
	11	片貝小学校 150 周年記念式典	片貝小学校
	17	町教育研究会合同研修会	九十九里小学校
	22	総合教育会議	九十九里町役場
12	5	第9回定例教育委員会議	町立中央公民館
	12	第1回臨時教育委員会	九十九里中学校
	12	教育委員会学校訪問 給食試食会	豊海小学校 九十九里中学校
1	7	成人式～はたちのつどい～	町立中央公民館
	11	第10回定例教育委員会議	町立中央公民館
	26	令和5年度教育長・教育委員研修会	スターツおおたかの森ホール
2	1	第11回定例教育委員会議	町立中央公民館

	25	東金・九十九里波乗りハーフマラソン	片貝中央海岸
3	8	九十九里中学校卒業式	九十九里中学校
	11	第12回定例教育委員会	町立中央公民館
	19	町内小学校卒業式	各小学校

3 教育委員会会議

(1) 会議の開催（令和5年4月～令和6年3月）

	定例会	臨時会	計
回数	12回	1回	13回

(2) 審議内容

開催日	議案名	
4月定例会 (4月5日)	第1号	九十九里町教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について
	第2号	令和5年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
	第3号	令和5年度九十九里町進学奨励費の認定について
	第4号	九十九里町教育大綱について
	第5号	令和5年度学校教育の方針について
	第6号	令和5年度社会教育の方針について
5月定例会 (5月1日)	第1号	豊海小学校運営協議会委員の任命について
	第2号	九十九里町学校再編推進委員会委員の委嘱について
	第3号	令和5年度教科書用図書山武採択地区協議会規約及び協議会委員の承認について
	第4号	準要保護児童生徒の認定について
6月定例会 (6月1日)	第1号	九十九里町教育要覧について
7月定例会 (7月3日)	第1号	準要保護児童生徒の認定について
8月定例会 (8月1日)	第1号	令和6年度使用教科用図書の採択について
9月定例会 (9月1日)	第1号	準要保護児童生徒の認定について
	第2号	山武地区教育委員会連絡協議会表彰者の推薦について
11月定例会 (11月1日)	第1号	準要保護児童生徒の認定について
	第2号	学校建設庁内調整会議設置要綱の制定について
臨時会 (12月12日)	第1号	九十九里町学校給食費補助金交付要綱の制定について
1月定例会 (1月11日)	第1号	教育長辞職の同意について
	第2号	九十九里町学校施設整備基金条例の制定について
2月定例会 (2月1日)	第1号	九十九里町立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について

	第 2 号	九十九里町区域外就学の承認基準について
	第 3 号	学校再編説明会を受けた今後の方針について
3 月定例会 (3 月 11 日)	第 1 号	準要保護児童生徒の認定について
	第 2 号	九十九里町要保護児童生徒及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱の一部を改正する告示の制定について
	第 3 号	九十九里町特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部を改正する告示の制定について
	第 4 号	九十九里町立学校施設の目的外使用に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	第 5 号	九十九里町学校体育施設の目的外使用に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	第 6 号	九十九里町芸術文化スポーツ活動報償金交付要綱の制定について
	第 7 号	九十九里町学校給食センター運営規程の一部を改正する訓令の制定について

各事業の評価結果

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 「確かな学力」の向上

事業名	小中学生の基礎・基本の定着	担当係	学校教育係
評価年度 (R5年度) 取組内容	基礎的・基本的な知識及び技能の習得のため、主体的に学習に取り組む態度を養い、学力の定着を図ります。 【経過・結果】 「町学校教育指導の指針」を小中校長会議で周知・確認するとともに、その重点項目である「確かな学力の定着」に向け、朝の読書の奨励や「家庭学習の手引き」を配付し、どのように自学をすればよいかの目安を示したり、家庭学習重点週間を設け、家庭学習の習慣化を図ったりする等、各学校の実態に応じて取り組めるように指導しています。 加えて、各小中学校に学習支援員を配置し、個に応じた指導の一層の充実を図りました。また全国学力学習状況調査や県標準学力調査の結果を分析し、各校において課題を把握し授業改善に努めるよう指導いたしました。 児童生徒にとってわかりやすい授業を行うために、タブレット端末やデジタル黒板を活用するよう指導しています。 【今後の方向性】 児童生徒の学習理解が深まるよう、指導方法の工夫などにより確かな学力の向上を図ります。また、学力の定着に向け、引き続き家庭学習の習慣化に向けた取り組みを行ってまいります。		
指標名	-		
実績値	-		
目標値	-		
自己評価	B		
評価結果	タブレット端末の活用が増えてきていると感じる。確かな学力の向上に向け、引き続き取り組むことを希望する。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 「確かな学力」の向上

事業名	ICT 機器を活用した情報教育の充実	担当係	学校教育係
評価年度 (R5年度) 取組内容	ICT 機器の特性を生かし、視覚、聴覚からの情報を学習に活用するなど、児童生徒にとってわかりやすく、親しみやすい授業を展開します。 【経過・結果】 授業での児童生徒たちへのタブレット操作の支援や教職員研修の講師として ICT 支援員を配置し ICT 機器の活用スキルの向上を図りました。これにより、授業においてデジタル黒板や書画カメラの活用が進み、教科書や資料などを効果的に共有することができ、授業の幅が大きく広がりました。 また、児童生徒がタブレットを使い自ら調べることで学習意欲の向上につながるものとなりました。 【今後の方向性】 デジタル教科書の本格導入を見据えて、教職員のスキル向上を図ります。また、GIGA スクール構想に基づきタブレットの更新など適正な管理に努め情報教育の充実を図ります。		
指標名	教職員 ICT 機器研修会の参加数		
実績値	各校 10 回		
目標値	5 回		
自己評価	B		
評価結果	ICT 機器の利活用が多くなってきているが、より充実した授業が展開できるよう、教職員へのサポートを願う。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 「確かな学力」の向上

事業名	外国語活動の充実	担当係	学校教育係
評価年度 (R5年度) 取組内容	外国語指導助手（ALT）を小中学校へ配置し外国語教育の充実を図ります。また、小学校では、英語免許を有する英語専科教諭を配置し、英語学習の基礎を指導します。 【経過・結果】 小中学校の外国語教育において、児童生徒のコミュニケーション能力の育成、英語力の向上を目指し、ALT を町内の小中学校に配置しています。 英語科教諭とALT が連携して、児童生徒一人一人の学習状況に応じた授業を実施することで、児童生徒が自信をもって外国語を話す機会が増えています。中学校ではALT を活用し、実用英語技能検定や山武郡市英語発表会の指導も行い、優秀な成績を収めることが出来ました。 またデジタル教科書を使用し、映像や音楽を効果的に用いる授業ができ、児童生徒の理解を促すことに繋がりました。 【今後の方向性】 外国語指導助手（ALT）による英語指導は、英語力の向上、コミュニケーション能力の育成に大切な役割を担っていることから、今後も小中学校への配置を行います。また、小学校への英語専科教諭についても継続して配置し、英語力の確かな定着を目指します。		
指標名	-		
実績値	-		
目標値	-		
自己評価	B		
評価結果	英語専科教諭による授業など評価できる。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 体験学習の推進

事業名	体験学習を重視した「生きる力」を育む総合的な学習の時間の推進	担当係	学校教育係
評価年度 (R5年度) 取組内容	社会体験、ものづくり、生産活動などの体験活動、また自然体験を通して観察・実験、見学や調査、発表や討論など、総合的な学習活動を推進します。 【経過・結果】 「学校教育の方針」の中の「ふるさとを愛する子の育成」に向け、ふるさと体験活動を推進しています。各校それぞれに、漁業を生かした「めざし作り体験」や「地引網体験」、海辺を生かした「蜆気楼体験」、田園を生かした「米作り・餅つき体験」等、地域の環境を生かした体験活動を行いました。これらの体験活動を通して、地域の産業に関心を持ち、地元への愛着が深まりました。 また、職場体験学習を実施し様々な産業に触れるとともに社会的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力の育成に努めました。 【今後の方向性】 「生きる力」を育むため、多様な活動による体験学習は重要であります。見聞を広め、公衆道徳や集団生活のあり方などについて学ぶ有効な機会となることから、引き続き推進してまいります。		
指標名	体験学習の実施回数		
実績値	28回		
目標値	各学年1回		
自己評価	A		
評価結果	地域の特性を生かした体験活動はとても有意義な学習である。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 「豊かな心」の育成

事業名	「豊かな心」の育成を目指した道徳教育の推進	担当係	学校教育係
評価年度 (R5年度) 取組内容	児童生徒に豊かな人間性や社会性を育むため、道徳教育を行います。 【経過・結果】 タブレットを活用し、オンラインで各小学校の6年生を繋いだ道徳授業を実施しました。様々な考え方に触れるとともに、自らの意見をしっかり述べる「考え議論する道徳」の授業が展開され、学びを深めることができました。 また「心の九十九里ルール」を周知し、規範意識の醸成や、学校・家庭・地域の連携が深まるように努めました。 その他、自然体験やキャリア教育など、様々な校外学習の実践内容を学校と協議しながら進め、人や社会との関わりについて学習を充実させるとともに、ペットボトルキャップを集める「エコキャップ」活動、新聞・雑誌・ダンボール等を回収する「リサイクル」活動を勧め、持続可能な社会について考える機会を作りました。 【今後の方向性】 成長段階に応じた体験や道徳教育、また関係機関と連携した人権教育などを継続し、豊かな情操と道徳心を養う教育を引き続き推進します。		
指標名	-		
実績値	-		
目標値	-		
自己評価	B		
評価結果	道徳教育は正解が一つではないので、自ら考え互いに議論することが大切だと考える。引き続きの推進を望む。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 特別支援教育の充実

事業名	就学指導と特別支援教育の 充実	担当係	学校教育係
評価年度 (R5年度) 取組内容	児童生徒の成長や個性に合わせた適正な支援を推進します。 【経過・結果】 適切な就学指導に向け、医師や特別支援学校の教諭等で構成する教育支援委員会を2回開催し、就学指導の充実を図りました。特に新入学児童については、必要に応じて小学校の教諭がこども園等を訪問し連携強化を図りました。また東上総教育事務所に特別支援アドバイザーの派遣を依頼し、児童生徒の自立活動の指導を充実できるよう全校での支援体制の構築や、保護者との合意形成への指導、授業のユニバーサルデザイン化を推進しました。 また、すべての小中学校に支援員を配置し学校活動全般に寄り添えるような支援体制の整備をしました。 その他、特別支援教育就学奨励費を支給し特別支援学級に就学する児童生徒の保護者に対し必要な援助を行い、経済的負担の軽減、就学の奨励を図りました。 【今後の方向性】 保護者、学校、児童生徒の相互理解のもと、児童生徒の状況に合わせた適正な支援を行います。また小学校入学に備え、他部署と連携しこども園への訪問相談の実施や、就学時健康診断についてはその結果を支援体制に活かすなど、充実した組織体制を構築します。		
指標名	-		
実績値	-		
目標値	-		
自己評価	B		
評価結果	支援が必要な児童生徒が適切な援助を受けられるような取り組みを評価する。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 教育相談の充実

事業名	教育相談の充実	担当係	学校教育係
評価年度 (R5年度) 取組内容	スクールカウンセラーや心の教育相談員の配置、訪問相談員による家庭訪問など、相談体制、支援体制を構築しています。 【経過・結果】 スクールカウンセラーの全校配置に加え、心の教育相談員を中学校に配置し、児童生徒、またその保護者に対する相談体制を構築しました。また、学期ごとに小中学校単位で長欠対策会議を開催し関係機関と連携を図る機会を作り、必要に応じてケース会議を開催するなど対応について協議しています。その他毎月、長欠だより「Assist-アシスト-」を発行し、長欠児童生徒の現状や課題の情報共有、対応等の情報発信を行いました。 なお、小中学校では、アンケートのほか教育相談週間を設け個々の面談を行いました。その他、相談箱の常設や、スクールカウンセラーの訪問日の周知に努めました。 【今後の方向性】 児童生徒が安心して登校できる環境作りのため、スクールカウンセラーや心の教育相談員の配置を継続します。また各小中学校において、アンケートの実施や相談しやすい体制を作るよう指導してまいります。		
指標名	アンケートの実施回数		
実績値	各校 2 回		
目標値	3 回		
自己評価	B		
評価結果	スクールカウンセラーへの相談が児童生徒だけでなく保護者も対象であることは相談・支援体制を構築する上で評価できる。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 特色ある教育の推進

主な取組 教職員に対する研修の充実

事業名	教職員の研修の充実	担当係	学校教育係
評価年度 (R5年度) 取組内容	教職員の資質向上、指導力の向上をめざし、教育研究活動や研修内容の充実を図ります。 【経過・結果】 授業改善や指導力の向上など、教職員が充実した教育研究に取り組めるよう、補助金を交付しその活動を支援いたしました。また、各学校の授業研究に指導主事を派遣し指導いたしました。 加えて、教職員のモラールアップや不祥事根絶について、校長会議の議題に毎回取り上げ、年間を通して協議しました。 若年職員への研修については、県総合教育センターの出前授業を活用したほか、学級経営と学習指導について参加体験型の研修を行い、教員としての資質・能力の向上に努めました。 【今後の方向性】 教職員の経験年数に応じた研修受講など積極的に推進し指導力向上を目指します。また不祥事根絶研修などにより教職員の資質向上、組織全体としての意識づくりに努めていきます。		
指標名	町教育研究会 研修回数		
実績値	2回		
目標値	2回		
自己評価	B		
評価結果	目標値どおり研修が実施されている。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校教育施設・設備の充実

主な取組 学校施設の適正な維持

事業名	学校施設の適正な維持	担当係	学校教育係
評価年度 (R5年度) 取組内容	学校施設の補修修繕など老朽化対策と安全な環境作りのため適正な維持管理を実施します。 【経過・結果】 「九十九里町学校施設長寿命化計画」をもとに、学校の老朽化に対応するため、主に設備など必要な修繕を行うとともに、学校からの改善要望などを受け各種修繕工事を行いました。その他、校庭に設置された遊具について専門業者による点検を実施し、危険遊具の早期発見につなげることが出来ました。 (片貝小学校) ・浄化槽フロートスイッチ交換 他 (豊海小学校) ・受水槽定水弁交換工事 他 (九十九里小学校) ・放送設備更新工事 他 (九十九里中学校) ・校舎屋上及び高架水槽架台防水修繕工事 他 【今後の方向性】 学校施設は、児童・生徒の学習や生活の場として重要な役割を担っていることから、引き続き計画的な維持管理を実施し、安全・安心な施設環境の整備を図ります。		
指標名	-		
実績値	-		
目標値	-		
自己評価	B		
評価結果	学校再編を控えている状況で、施設修繕の判断は非常に難しいと思われる。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校・家庭・地域との連携

主な取組 地域に開かれた学校づくり

事業名	地域とともにある学校を実現する	担当係	学校教育係
評価年度 (R5年度) 取組内容	学校評価アンケートや学校関係者評価委員会での意見等を参考にしながら、適正な学校運営がなされるように指導、助言していきます。 【経過・結果】 各小中学校に対し、学校評価アンケートの実施とその集計、結果の分析の的確な実施、及び学校関係者評価委員会での意見等を学校運営に反映するよう指導いたしました。 また、学校と地域が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「学校運営協議会」を豊海小学校で導入し、地域と共にある学校づくりに向けた取り組みを前進させました。 【今後の方向性】 引き続き児童生徒、保護者、地域の方々の声に耳を傾け、学校運営や日常の教育実践等への反映に努めます。		
指標名	学校評価アンケートの実施回数		
実績値	各校 1 回		
目標値	各校 1 回		
自己評価	B		
評価結果	学校運営協議会が有意義なものとなるよう、引き続きの取り組みを望む。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校教育施設・設備の充実

主な取組 教育環境の充実

事業名	学校のあり方についての検討	担当係	学校再編係
評価年度 (R5年度) 取組内容	九十九里町学校再編推進委員会において、学校規模の適正化及び学校再編に関する調査研究を行いました。 また、住民説明会やパブリックコメントを実施し、広域的な意見徴収を図りました。 【経過・結果】 《学校再編推進委員会》 ・令和5年 5月16日（第1回） ・令和5年 6月13日（第2回） ・令和5年 7月11日（第3回） ・令和5年 9月 5日（第4回） ・令和5年10月 3日（第5回） 学校規模適正化・適正配置基本計画を基に、全5回の委員会において、今後の学校の規模・配置等を協議し「学校再編計画（案）」を作成しました。 《住民説明会》 ・令和6年 1月28日 町の現状及び再編計画の経緯等を住民に説明し、規模・配置等について協議する場を設け、計画作成への意見集約を図りました。 《パブリックコメント》 ・令和6年 3月18日～27日 「再編推進委員会」及び「住民説明会」の結果を踏まえ作成した「学校再編計画（案）」について、広く一般からの意見を取り入れるためパブリックコメントを実施しました。 【今後の方向性】		

	学校再編推進委員会・住民説明会及びパブリックコメントによる協議検討結果については、教育委員会会議において報告し、「学校再編計画」として議決いただきます。
指標名	学校再編推進委員会会議回数
実績値	5回
目標値	5回
自己評価	A
評価結果	学校再編に向け様々な課題を解決しながら円滑に進むことを期待する。また、住民の関心も高いことから、今後も住民説明会実施などの必要性があると思われる。
評価	A

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校・家庭・地域との連携

主な取組 家庭教育の推進

事業名	家庭教育推進事業	担当係	社会教育係
評価年度 (R5年度) 取組内容	家庭教育学級をはじめ、児童・保護者のニーズにあった家庭教育事業を支援します。		
	町内こども園、小学校及び中学校において、家庭や地域の教育力の向上を図ることを目的として開催する家庭教育学級への支援を実施します。		
	【経過・結果】		
	子どもと保護者が共に学ぶ機会を提供するため、こども園及び小学校にて家庭教育学級を開催しました。		
	但し、町開催の全体会は中止となりました。		
	家庭教育の向上のため、各家庭に対し情報提供を実施するとともに、各種研修等への参加を呼びかけました。		
	《実績》		
	全体会	中止	
	とようみこども園	3回	
	かたかいこども園	5回	
豊海小学校	3回		
片貝小学校	4回		
九十九里小学校	1回		
九十九里中学校	4回		
参加者	延べ保護者	1,170人	
	園児・児童	1,391人	合計 2,561人
内容	音楽鑑賞・親子運動・交通安全教室 講演会 ほか		
	【今後の方向性】		
	家庭教育学級とは、家庭が本来果たすべき役割を見つめなおす機会になるよう、保護者自身が親の役割、子どもの心の理解など、家庭における教育について考え、深めていく学習の場であり、今後も実施します。		
指標名	家庭教育学級開催数		

実績値	20 回
目標値	30 回
自己評価	C
評価結果	学校によって実施回数が異なっている。また、共働き世帯の増加等により参加が困難な状況も見受けられる。家庭の教育力向上のため、実施方法を工夫するなどして、より充実した活動になることを願う。
評価	C

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校・家庭・地域との連携

主な取組 青少年の健全育成

事業名	子ども会活動の充実	担当係	社会教育係
評価年度 (R5年度) 取組内容	各団体と連携協力し、活動の充実を図るとともに、地域 の子どもたちの縦と横のつながりを深めます。		
	育成者へ講習会や研修会への積極的な参加を促し、指導 者としての資質向上を図ります。		
	【経過・結果】		
	子ども会活動の活性化を図るための事業を開催しまし た。		
	例年、中学生以上のジュニアリーダーとの連携を強化し ており、地域の子も達とのつながりの強化のため、指導 者育成研修への参加を支援いたしました。		
	《実績》		
	お寺で遊ぼう（虫おくり）	13名	
	見学ツアー（千葉工業大学）	16名	
	子どもかるた大会	13名	
	ボッチャ大会	中止	
指標名 実績値 目標値 自己評価 評価結果 評価	【今後の方向性】		
	町内における子どもの数が激減しており、活動を維持で きない単位子ども会が急増しています。		
	今後、会の活動を維持していくためにも、地域全体で活 動意欲を活性化できるような事業を計画・推進します。		
	また、休止・解散した単位子ども会に所属していた児童 についても引き続き参加できるよう連絡体制の強化を図 ります。		
	子ども会数の減少抑止		
	13団体		
	15団体		
	C		
	少子化が進む中で、子ども会の成立・活動は困難な状況 である。形態の見直しなど、今後の在り方を検討するこ とを望む。		
	C		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校・家庭・地域との連携

主な取組 青少年の健全育成

事業名	青少年活動の充実	担当係	社会教育係
評価年度 (R5年度) 取組内容	青少年相談員連絡協議会交付金。 活動：夜間パトロール、カーブミラー清掃、 相談員ツアー 【経過・結果】 青少年の健全な育成のため、見回り活動や体験活動を通 じ、青少年を地域全体で見守る活動を推進します。 ・夜間パトロール 6名 ・有害図書調査 6名 ・カーブミラー清掃 延べ14名：261箇所 1回目：片貝・九十九里地区、2回目：豊海地区 ・青少年相談員ツアー 中止 【今後の方向性】 青少年の健全な心身の育成のため、活動を実施するとと もに見守り体制を強化します。 また、効果的な事業の企画・立案をし、地域での活動の 活性化を図るため、関係者との協議を推進します。		
指標名	青少年相談員活動の実施回数		
実績値	4回		
目標値	5回		
自己評価	B		
評価結果	青少年相談員の様々な活動を評価する。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校・家庭・地域との連携

主な取組 青少年の健全育成

事業名	ジュニアリーダースクラブ 活動の充実	担当係	社会教育係
評価年度 (R5年度) 取組内容	各種行事の企画運営や研修会へ参加し、自己能力の向上を図るとともに人材の発掘を図ります。 資格取得を促し、九十九里町だけでなく千葉県で活躍するリーダーの育成に努めます。 【経過・結果】 地域の児童生徒のリーダー育成のため、各種行事の企画運営や研修会への参加を行っているとともに、町子ども会行事の準備等についても協力を行っています。 また、新規の加入者確保のためのチラシ作成など推進活動を実施しました。 中学生：10名、高校生：13名 うち新規加入者数 1名 初級研修 1回開催（参加数：6名） 中級研修 1回開催（参加数：2名） 上級研修 3回開催（参加数：1名） 【今後の方向性】 コロナ禍においての活動が減少していた影響から周知不足もあるため、様々な手法の啓発を協議していきます。 これから各種事業が制限なく開催されていきます。積極的に参加・活動し、新規加入の推進を図ります。 また、コロナ禍において実施した活動報告やパンフレットの作成は継続的に実施し事業啓発の推進に努めます。		
指標名	ジュニアリーダースクラブ活動参加者の増加		
実績値	1名		
目標値	5名		
自己評価	C		
評価結果	子どもも減っている中で、新規加入のジュニアリーダーやその活動に評価する。さらなる充実を期待する。		
評価	C		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校・家庭・地域との連携

主な取組 青少年の健全育成

事業名	通学合宿の実施	担当係	社会教育係
評価年度 (R5年度) 取組内容	九十九里町通学合宿の開催。 【経過・結果】 異なる学校・世代の児童が共同生活をする中での体験活動を通して、自主性・社会性や協調性等を身に着けることを目的に実施しました。 対象 町内小学校4～6年生 期間 3泊4日 参加 32名 【今後の方向性】 子どもたちの自主性・社会性や協調性を養うことと、地域全体で子どもを育てる意識の高揚を図るため、引き続き実施します。		
指標名	自主性・社会性・協調性の向上		
実績値	100%		
目標値	100%		
自己評価	A		
評価結果	子どもの自主性や協調性を身に付ける上で大変貴重な取り組みであり、数年ぶりに開催できたことも含め評価できる。継続を願う。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 生涯学習の充実

主な取組 生涯学習の推進

事業名	生涯学習推進体制の充実	担当係	社会教育係
評価年度 (R5年度) 取組内容	生涯学習推進協議会の組織・運営。 生涯学習推進大会の開催。 【経過・結果】 町民の学習機会の充実を推進するため、生涯学習推進大会を開催しました。 ・生涯学習推進協議会 2回開催 ・生涯学習推進大会 生涯学習実践発表 3団体 講演会 【今後の方向性】 学習機会の充実化のため、生涯学習推進大会を開催し学習意欲の醸造を図るとともに、団体による活動発表の場を提供し、地域団体活動の活性化を図ります。		
指標名	事例発表団体数		
実績値	3団体		
目標値	4団体		
自己評価	B		
評価結果	大会が開催できたことを評価する。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 地域文化の継承と創造

主な取組 郷土芸能の保存・継承

事業名	郷土芸能の保存・継承	担当係	社会教育係
評価年度 (R5年度) 取組内容	3年に一度、郷土芸能まつりを開催し、各地区の郷土芸能団体と協力し、郷土芸能の保存・継承を図ります。 【経過・結果】 郷土芸能まつり（6年ぶり）を開催し、町内の各地区で伝承されている無形文化財を一堂に集め、郷土芸能への理解と認識を深めると共に、保存・継承活動の推進と地域文化の活性化に寄与しました。 【今後の方向性】 本町内に伝承されている民族芸能は、日々練習を行うなか、各地区の例祭等、限られた場所で演じられています。各組織においては、指導者・後継者不足が大きな問題となっていることから、今後の伝承活動に取り組む必要があります。 このことから町内の郷土芸能を一堂に会した発表の場を設けることは、こどもたちに学ぶ機会をつくり、地域の郷土芸能の保存・継承及び活性化が図れるため、3年に一度の郷土芸能まつりを継続していきます。		
指標名	活動団体数		
実績値	9団体		
目標値	9団体		
自己評価	A		
評価結果	6年ぶりの開催は大変意義がある。人口が減少する中で課題は多いと思うが、地域文化の保存、継承のためにも継続されることを願う。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 地域文化の継承と創造

主な取組 文化財の保存・活用

事業名	文化財の保存・活用	担当係	社会教育係
評価年度 (R5年度) 取組内容	伊能忠敬記念公園・文化財関係維持管理。 【経過・結果】 伊能忠敬記念公園については、地元自治区の協力と職員による週1回の清掃作業を行っており適正な管理体制が構築されています。 また、より適切に利用できるよう施設の修繕を計画しました。 【今後の方向性】 文化財維持管理と地域住民の憩いの場として活用していくため、引き続き地元自治区と協力し、伊能忠敬記念公園の適正な管理に努めます。		
指標名	-		
実績値	-		
目標値	-		
自己評価	A		
評価結果	地元自治区と連携し適切な管理ができている。今後も継続することを望む。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 スポーツ活動の充実

主な取組 スポーツ活動の推進

事業名	学校体育施設の開放	担当係	社会教育係
評価年度 (R5年度) 取組内容	町内3小1中の学校体育施設を開放し、運動に親しむ環境を提供します。 活動団体の活動環境の改善を推進し、登録団体数の確保に努めます。 【経過・結果】 運動に親しむことのできる環境を作るため、学校体育施設の開放を行いました。新型コロナウイルス感染症の制限が緩和され、徐々に活動の再開・推進が図れています。 【今後の方向性】 町民の健康保持のため、施設利用促進を図ります。		
指標名	学校体育施設登録団体数		
実績値	40 団体		
目標値	41 団体		
自己評価	B		
評価結果	新型コロナウイルス感染症の制限が緩和され、活動が多くなったことは評価できる。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 スポーツ活動の充実

主な取組 スポーツ活動の推進

事業名	団体及び指導者の育成・強化	担当係	社会教育係
評価年度 (R5年度) 取組内容	スポーツ教室の開催（卓球）。 【経過・結果】 各種スポーツへ講師を迎えスポーツ教室を開催し、競技人口の増加及び指導者の育成を図り、総合的な各種スポーツの活性化を図ることを目的とし計画していたが、中止となりました。 【今後の方向性】 各種スポーツの活性化を図るため、年1回のスポーツ教室を開催します。		
指標名	スポーツ教室開催回数		
実績値	0回		
目標値	1回		
自己評価	C		
評価結果	開催できなかったことは残念である。様々なスポーツの活性化を図る観点から今後の開催を期待する。		
評価	C		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 スポーツ活動の充実

主な取組 スポーツ活動の推進

事業名	社会体育活動事業の実施	担当係	社会教育係
評価年度 (R5年度) 取組内容	山武郡市民体育大会、スポーツ・レクリエーション祭、山武郡市民駅伝競走大会等各種スポーツ大会の開催。 【経過・結果】 レクリエーションやスポーツ大会を行うことにより、子どもから大人まで広く町民の皆様が運動に親しむ機会を設けています。新型コロナウイルス感染症の制限が緩和され、各種スポーツ大会を開催することができました。 山武郡市民体育大会 総合5位 233名 優勝：剣道、ゲートボール 2位：バレーボール（男子） 3位：バレーボール（女子）、バスケットボール（女子） 町スポーツ・レクリエーション祭 ポッチャ 18名、ユニカール 10名 グラウンドゴルフ 24名 山武郡市民駅伝競走大会 総合5位 その他各種成人大会 【成人大会企画 専門部・協会】 （開催）ゴルフ（春）43名、ゴルフ（秋）66名 バレーボール（秋）4チーム （中止）野球（春・秋）、ソフトボール バスケットボール スポーツフェスティバル（中止） 【今後の方向性】 町民の健康保持のため、スポーツ・レクリエーション活動の振興や普及に努めるとともに、実践の場として各種ス		

	ポーツ大会等を開催します。 各成人大会を自主運営できるよう、各専門部・協会を支援します。
指標名	社会体育事業参加者数
実績値	438 名
目標値	1,350 名
自己評価	B
評価結果	今後スポーツ人口が増えることに期待する。
評価	B

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 スポーツ活動の充実

主な取組 スポーツ活動の推進

事業名	スポーツ協会加盟団体の活動支援	担当係	社会教育係
評価年度 (R5年度) 取組内容	九十九里町スポーツ協会補助金。 【経過・結果】 町におけるスポーツ活動の中心である、スポーツ協会へ補助金を交付し、各種スポーツ団体主催による大会や研修、講習会開催時の支援を行いました。 【今後の方向性】 各種スポーツ団体の育成・強化に努め、各種大会の自主運営、指導者の育成、資質向上を図ります。		
指標名	スポーツ協会加盟団体数		
実績値	18団体		
目標値	19団体		
自己評価	B		
評価結果	今後もスポーツ団体の支援を期待する。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 スポーツ活動の充実

主な取組 スポーツ施設の維持・改修

事業名	野球場の利用促進	担当係	社会教育係
評価年度 (R5年度) 取組内容	スポーツの場として有効活用できるように促進するとともに、適切な維持管理をします。 スポーツトラクターの整備。 施設改修（野球場観客席改修）。 【経過・結果】 野球場施設の安全性向上及び適正管理のため、各種整備工事を実施しました。 観覧席については、令和元年度以降、観覧席利用者はコンクリート部分に直接座る状況となっていました。利用環境としては適切ではないと判断し改善を図りました。 なお、実績値は昨年度と比較し、利用状況としては向上してきております。 【今後の方向性】 施設を適正且つ安全に利用できるよう、定期の整備工事を実施していきます。		
指標名	野球場年間累計利用団体数		
実績値	120 団体		
目標値	170 団体		
自己評価	A		
評価結果	適切な修繕、維持管理ができている。安全に利用できるよう努め、利用者増加につなげて欲しい。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 スポーツ活動の充実

主な取組 海辺のスポーツ環境づくり

事業名	海岸スポーツ推進	担当係	社会教育係
評価年度 (R5年度) 取組内容	サーフィンスクールの開催。 【経過・結果】 海岸における活動推進と、子ども達が自然に触れあいながら学ぶ場を提供するため、日本サーフィン連盟の協力のもと、サーフィンスクールを開催しました。 また、協会との協議を実施し、ビーチクリーン作業などを取り入れ、海岸の景観改善、海洋生態系保全やゴミ問題の意識向上に努めました。 第1回（片貝中央海岸）：22名 第2回（片貝中央海岸）：12名 【今後の方向性】 参加者の健康・安全に留意しつつ、今後も企画・開催していきます。 また、日本サーフィン連盟と協力体制を拡充し、海岸における活動推進を図ります。		
指標名	海岸を活用したスポーツ事業の実施		
実績値	2回		
目標値	2回		
自己評価	A		
評価結果	サーフィンなど海岸を活用したスポーツを今後も推進して欲しい。加えて、海洋保全や問題などにも取り組んでいる点についても評価する。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 生涯学習の充実

主な取組 生涯学習の推進

事業名	生涯学習推進事業	担当係	中央公民館
評価年度 (R5年度) 取組内容	地域の実情や課題に応じた各種講座を開催し、より多くの町民が参加でき、余暇の活動や生涯学習の推進のため幅広い学習機会の場を提供する。また、講座終了後は、自主的に継続して活動できるように運営支援に努め同好会への移行を図ります。 生涯学習を目的とした各種講座を企画開催し、広報やHPにより広く住民に周知する。住民の余暇の活用及び生涯学習の推進による学びやふれあいの場を提供します。 【経過・結果】 (公民館活動) 生涯学習推進の場として、公民館を開放し学習機会を提供しました。 ・町主催講座受講者数 ソフトボールヨガ講座（10回開催）受講者20人 絵手紙教室講座（10回開催）受講者14人 健康ヨガ講座（10回開催）受講者30人 太巻き寿司教室（10回開催）受講者24人 ※町主催講座から自主同好会へ移行。 (絵手紙教室) ・公民館利用状況 各教室・同好会 13, 141人 1, 093回 (図書室) ・開室日数 283日、入室者数 4113人、 貸出者数2, 791人、蔵書冊数21, 844冊、 貸出冊数6, 308冊、1日平均貸出し冊数22冊		

	【今後の方向性】 多様な学習ニーズに対応できる学習内容や学習情報を提供するとともに、学習活動の充実を図ります。 また、町主催講座修了後、自主的に継続して活動できるように運営支援に努め同好会への移行を図ります。
指標名	講座受講者の参加人数
現状値	88人
目標値	100人
自己評価	B
評価結果	今後も広報やホームページなどで活動の周知を図ることを希望する。
評価	B

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 生涯学習の充実

主な取組 生涯学習の推進

事業名	生涯学習推進事業	担当係	中央公民館
評価年度 (R5年度) 取組内容	文化団体連絡協議会（参加団体）への支援 【経過・結果】 各団体の活動内容や会員募集のため、会報を作成し、全世帯に配布しています。 （文化団体連絡協議会参加団体数） 25団体 【今後の方向性】 文化事業の推進母体としてのより一層の強化を図ります。また、一般住民の参加を広報やHPを使い募集を呼びかけ、文化活動の充実を図ります。		
指標名	文化活動団体への支援		
現状値	25団体		
目標値	30団体		
自己評価	B		
評価結果	住民の参加が増えるよう、引き続き広報活動に期待する。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 生涯学習の充実

主な取組 生涯学習環境の整備

事業名	生涯学習施設整備事業	担当係	中央公民館
評価年度 (R5年度) 取組内容	施設に不具合があった際に保全を行う「事後保全」型の管理から、計画的に施設の点検・修繕等を行い、不具合を未然に防止する「予防保全」型の管理へと転換を目指します。また、劣化・損傷が軽微な早期段階で把握し修繕を行うことで、劣化・損傷の進行を事前に防止し、修繕にかかる費用を縮減します。 【経過・結果】 主な修繕箇所 受水槽定水位弁及び配管設備修繕 消防用設備修繕 主な工事箇所 3階視聴覚室床張替工事 【今後の方向性】 不具合の早期発見に努め、修繕にかかる費用を縮減するとともに適切な維持・管理による長寿命化を図ります。		
指標名	-		
現状値	-		
目標値	-		
自己評価	B		
評価結果	不具合が生じる前に対応する取り組みを評価する。日常点検の実施などにより、予防保全に努めて欲しい。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 多様な学習機会の充実

施 策 地域文化の継承と創造

主な取組 芸術文化活動の推進

事業名	芸術文化活動推進事業	担当係	中央公民館
評価年度 (R5年度) 取組内容	公民館等で実施をされている各種講座・同好会が連携を図り、文化祭等各種事業実施の際の円滑化を図るとともに、町民文化事業のための推進母体としてのより一層の強化を図ります。また、一般住民の参加を呼びかけ、文化活動の充実を図ります。 【経過・結果】 参加団体数 25 団体 町民文化祭 芸能発表（10／29）、作品展示発表（10／29～11／3まで）行いました。5年ぶりに開催することができました。 【今後の方向性】 ・今後も文化祭を開催し、学習の成果を発表する場を提供する。（作品展示発表及び芸能発表）		
指標名	町民文化祭参加団体数		
現状値	開催（25 団体）		
目標値	30 団体		
自己評価	B		
評価結果	目標値には届かなかったものの、5年ぶりの開催を評価する。		
評価	B		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校教育施設・設備の充実

主な取組 教育環境の充実

事業名	学校給食事業のあり方の検討	担当係	学校給食係
評価年度 (R5年度) 取組内容	学校給食センター運営委員会を軸として、意見交換を行い、給食事業及び施設の方向性を検討します。 【経過・結果】 学校給食に対する理解を深めるとともに、子どもの「食育」を推進するため、教育委員による試食会を行いました。 また、学校給食センターの運営を適正かつ円滑にするため、運営委員会を2回開催しました。町内の児童生徒に対する給食費無償化事業や給食費の見直しなど慎重審議を行い、給食事業の安定に向け取り組みを進めました。 【今後の方向性】 児童、生徒にとってより良い給食事業及び施設のあり方を、学校給食センター運営委員会を軸として進めてまいります。		
指標名	学校給食センター運営委員会会議回数		
実績値	2回		
目標値	2回		
自己評価	A		
評価結果	学校給食センター運営委員会で協議されたことをもとに、今後もより良い給食事業を展開することを期待する。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校教育施設・設備の充実

主な取組 教育環境の充実

事業名	安全・安心な学校給食の提供	担当係	学校給食係
評価年度 (R5年度) 取組内容	安全安心な学校給食を提供します。 日常点検・定期点検による機器の故障等の事故防止と迅速な修繕を行うとともに計画的な調理機器等の入替えを行います。 【経過・結果】 給食調理・配送の委託業者、栄養士（栄養教諭）、町職員との連携を密にするとともに、提供する食材の管理や調理員の体調、調理過程、機器、配送に至るまで、毎日の記録と点検を実施し安全な給食の提供に努めました。 また、調理機器等の修繕及び、衛生管理上不適合、不具合な設備等の修繕を実施しました。 ・配食日数 年間192日 ・配食数 日平均779食 ・主な修繕 調理場内漏水、スチームコンベクションオープン、回転釜、排気ファン他 【今後の方向性】 給食の安全を確保するため、食材の品質や衛生管理体制の徹底を図り、学校給食センター施設および調理機器等の日常点検や保守点検により判明した不具合や耐用年数を超える調理機器等の修繕を計画的に行い、児童生徒に安全安心な給食の提供に努めます。		
指標名	事故による給食停止日数		
実績値	0日		
目標値	0日		
自己評価	B		
評価結果	給食センターの施設・設備の老朽化が進む中で、安全、安心な給食が事故なく提供されていることは評価できる。		
評価	A		

【生きる力と豊かな心を育むまちづくり】

政 策 子どもたちの生きる力を育む

施 策 学校教育施設・設備の充実

主な取組 教育環境の充実

事業名	学校給食費補助事業（学校給食費無償化）	担当係	学校給食係
評価年度 (R5年度) 取組内容	保護者の経済的負担を軽減し教育環境の充実や子育て支援のため学校給食費補助事業に取り組みます。 【経過・結果】 令和5年1月から第3子以降の義務教育期間における町立小・中学校の児童・生徒の学校給食費無償化を実施しておりましたが、令和6年1月から町内在住の公立小中学校及び特別支援学校等に在籍する児童・生徒の学校給食費を完全無償化といたしました。 《第3子以降学校給食費減免》 ・期 間 令和5年4月～令和6年3月 ・該当者 94名（82世帯） ・減免額 4,274,890円 《学校給食費完全無償化》 ・期 間 令和6年1月～3月 ・該当者 614名（小学生371名・中学生243名） ・補助金額 7,530,765円 【今後の方向性】 学校給食費の完全無償化について引き続き取り組み、教育環境の充実を図ってまいります。		
指標名	—		
実績値	—		
目標値	—		
自己評価	A		
評価結果	学校給食費の完全無償化は大いに評価できる。引き続き実施されるよう願う。		
評価	A		

